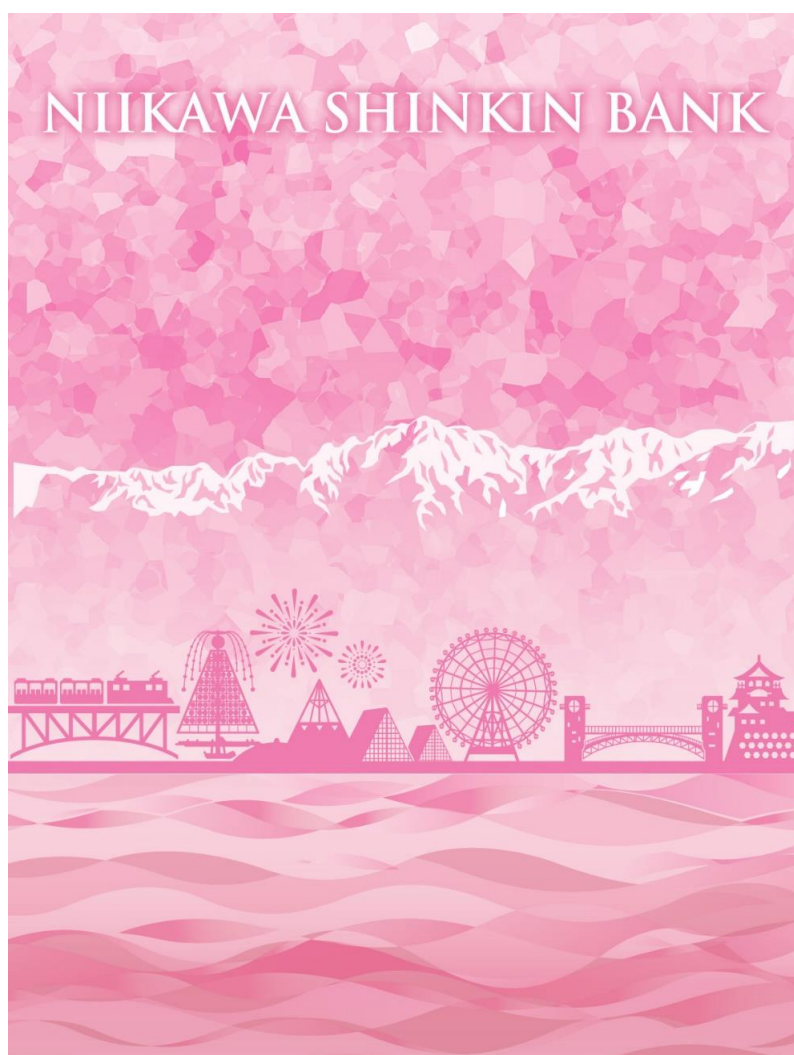


第99期

# 業務報告書

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日



## 目次

ごあいさつ	1
業務の概要	2
預金・貸出金の状況	2
損益の状況	3
自己資本の構成と自己資本比率	3
有価証券の時価情報	4
不良債権の状況	4
第99期 貸借対照表	5
第99期 損益計算書	6
第99期 剰余金処分	7
第99期 通常総代会決議	8
庶務の概要	9



初夏の季節を迎え、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに第99期の事業概況と決算内容をご報告申し上げるにあたり、日頃のご愛顧とご支援に対して厚くお礼申し上げます。

2021年度の日本経済は、新型コロナウイルスの感染抑制と経済活動の回復に取組み、生産活動や個人消費は、緩やかな回復の兆しも見られましたが、年明け以降再び感染が拡大してきたことや、資源価格の高騰による企業物価の上昇、ロシア・ウクライナ情勢等の悪化により、先行き不透明感が払拭できずにあります。

企業活動においては、2020年度を中心に実施したコロナ対策制度融資等により、企業の倒産件数は歴史的な低水準となる一方、外部環境の不透明さから、持続的な回復には至っておりません。金融環境においては、物価上昇等の影響により、欧米で金融緩和政策を徐々に解除する動きが見られ、国内では長期金利の上昇や大幅な円安・ドル高の動きが見られました。こうした動きに加えて、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学リスクにより、金融市場は年度後半から、やや不安定な動きとなりました。

こうしたなか、当金庫の営業エリアである富山県経済は、個人消費や生産活動に緩やかな回復の兆しが見られる一方、宿泊、飲食・サービス業の中には、依然として売上が低迷しているところもあるなど、全体としては、持ち直しに向けた動きに一服感がみられます。

今後は、こうした動向を注視しつつ、お客様の事業や家計の支援を強化しながら、地域経済の回復を支えてまいります。

当金庫の事業概況につきましては、預金積金は、地域のお客様に支えられ、流動性預金を中心に前期比9億23百万円増加の1,758億96百万円となりました。貸出金は、2020年度にコロナ対応の緊急融資制度「無利子・無担保融資」を数多くのお客様にご利用いただいた反動もあり、前期比26億94百万円減少の686億49百万円となりました。その他、預け金残高は前期比21億62百万円減少の592億46百万円、有価証券残高は前期比44億9百万円増加の493億58百万円となりました。

収支面をみると、経常収益は、役務取引等収益の減少により、前期比20百万円減少の16億68百万円となった一方、経常費用は、与信関連費用の大幅な減少により、前期比4億90百万円減少の16億17百万円となりました。この結果、経常利益は前期比4億69百万円増加の51百万円、当期純利益は34百万円となりました。

金融機関の重要指標の一つである自己資本比率につきましては、8.85%と国内基準の4%を十分に確保しているほか、本業の利益を示すコア業務純益は、前期比22百万円増加の1億63百万円と引き続き増益となるなど、健全性は確保しております。

北陸地区の景気は緩やかな持ち直しが見られていましたが、ここにきて原材料やエネルギー価格の高騰により先行きの不確実性が高まってきているほか、中長期的には、人口減少、少子高齢化、事業所の減少等の課題は依然として残されており、当金庫の事業環境も引き続き、厳しい状況が予想されます。また、お客様の中には、依然として売上が回復していない事業先、将来不安を抱える個人のお客様も少なくありません。

そのような中、昨年10月に実施させて頂いたお客様アンケートでは、「お客様との接点や向き合う姿勢」について一定の評価を頂いた一方、「本業支援や経営相談、家計やライフプラン相談」といった項目は、満足できる評価を頂くことができませんでした。

このような反省点を踏まえ、我々が最も力を入れるべきことは、「お客様とこれまで以上に真摯に向き合い、悩みや不安を共有し、一緒に改善策を考えていく」ということでもあります。この目標の実現に向けて、人材育成に力を入れていくのはもちろんのこと、お客様におかれましても、当金庫への忌憚のないご意見・ご要望、ご指導ご鞭撻を頂きたいと存じます。

なお、当金庫は地域のお客様に支えられ、2023年に創立100周年という大きな節目を迎えますが、これまで以上にお客様に喜んでもらえるよう、役職員一同一丸となって取り組む所存でございますので、今後とも格別のご厚情とご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

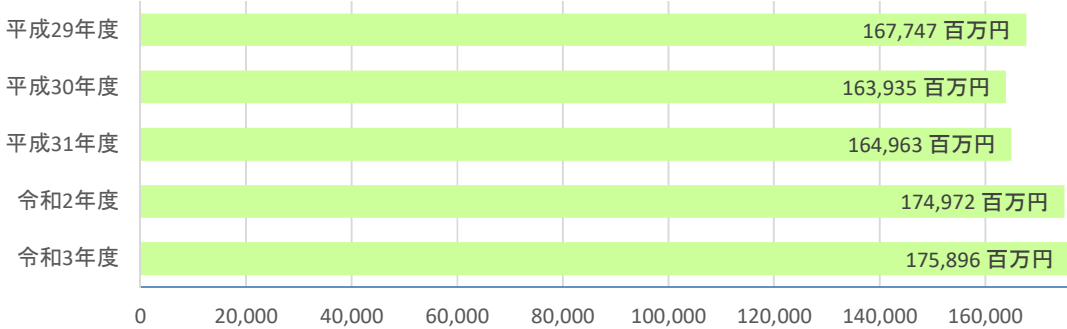
令和4年6月

理事長 岸 和雄

## 業務の概要

### 預金・貸出金の状況

#### 預金残高の推移



【令和3年度】 コロナ禍でのレジャー関連支出の抑制等もあり、流動性預金は前期末と比べ41億62百万円の増加、定期性預金は減少したものの、全体では9億円23百万円増加しました。

#### 貸出金残高の推移



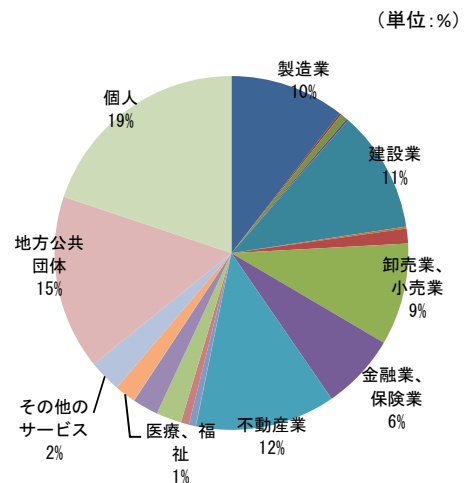
【令和3年度】 前期に引き続きコロナ禍における事業所向けの資金繰り支援に注力しましたが、前期大幅増加の反動もあり、前期末と比べ26億94百万円減少しました。

#### 貸出金業種別内訳

(単位:百万円)

	令和3年3月末		令和4年3月末	
	残高	残高	構成比	
製造業	6,894	7,200	10.48%	
農業、林業	107	132	0.19%	
漁業	495	426	0.62%	
鉱業、採石業、砂利採取業	154	139	0.20%	
建設業	7,918	7,631	11.11%	
電気・ガス・熱供給・水道業	113	104	0.15%	
情報通信業	-	-	0.00%	
運輸業、郵便業	911	938	1.36%	
卸売業、小売業	6,462	6,413	9.34%	
金融業、保険業	3,762	4,764	6.93%	
不動産業	9,236	8,778	12.78%	
物品賃貸業	37	35	0.05%	
学術研究、専門・技術サービス業	487	421	0.61%	
宿泊業	527	517	0.75%	
飲食業	1,554	1,576	2.29%	
生活関連サービス業、娯楽業	1,632	1,621	2.36%	
教育、学習支援業	10	11	0.01%	
医療、福祉	1,592	1,321	1.92%	
その他のサービス	2,176	2,026	2.95%	
地方公共団体	12,531	10,955	15.95%	
個人(住宅・消費・納税資金等)	14,738	13,634	19.86%	
合計	71,344	68,649	100.00%	

貸出金業種別内訳(令和4年3月)



業種区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

●本資料に掲載している計数は、単位未満を切り捨てて表示しております。

## 損益の状況

(単位:百万円)

	令和3年3月期	令和4年3月期	増減
業務純益	36	164	128
コア業務純益	140	163	22
経常利益	△ 418	51	469
当期純利益	△ 501	34	536

業務純益は、一般貸倒引当金繰入額が大幅に減少したことや継続的な経費の節減により、前年同期比1億28百万円増益の1億64百万円になりました。信用金庫本来の事業活動の利益を示すコア業務純益についても、7期連続増益の1億63百万円となりました。

コロナ禍の長期化影響等から与信関連費用を計上したことにより、経常利益は51百万円、当期純利益は34百万円の利益計上となりました。

## 自己資本の構成と自己資本比率

### ～自己資本比率は国内基準の4.00%を上回る水準を維持～

自己資本の額は、前期末と比べ14百万円増加し51億31百万円となり、リスクアセットは、前期末と比べ6億26百万円減少し579億64百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前期末と比べ0.12ポイント上昇の8.85%となりました。

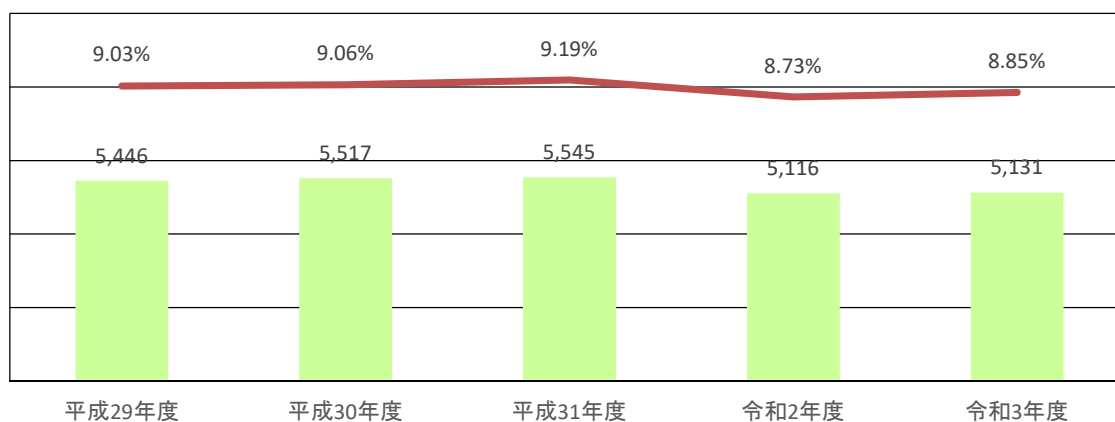
(単位:百万円)

	令和3年3月末	令和4年3月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	5,260	5,302
コア資本に係る調整項目の額 (B)	143	170
自己資本の額[(A) - (B)] (C)	5,116	5,131
リスクアセット (D)	58,590	57,964
単体自己資本比率 (C)/(D)×100	8.73%	8.85%

## 自己資本と自己資本比率の推移

■ 自己資本 ■ 自己資本比率

(単位:百万円)



## 有価証券の時価情報

お客様からお預かりした預金は、地域の皆様へ融資しているほか、格付けの高い有価証券(国債、社債等)などのリスクを限定した安全な資産で運用しております。

(単位:百万円)

その他有価証券	種 類	令和3年3月末			令和4年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	28,925	28,233	692	22,091	21,643	447
	国債	7,742	7,522	219	4,764	4,613	150
	地方債	5,697	5,552	145	5,053	4,958	95
	社債	15,485	15,157	327	12,273	12,071	201
	その他	3,886	3,810	76	1,605	1,591	14
	小 計	32,812	32,043	768	23,697	23,234	462
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	4,806	4,965	△ 158	13,532	14,023	△ 491
	国債	4,395	4,552	△ 157	10,270	10,744	△ 473
	地方債	-	-	-	419	423	△ 3
	社債	411	412	△ 1	2,842	2,855	△ 13
	その他	5,263	5,440	△ 176	10,122	10,652	△ 529
	小 計	10,070	10,405	△ 335	23,655	24,676	△ 1,021
合 計		42,882	42,449	433	47,352	47,911	△ 559

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。  
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(単位:百万円)

満期保有目的の債券	種 類	令和3年3月末			令和4年3月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	733	769	35	674	697	23
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	500	500	0	500	502	2
	小 計	1,233	1,269	35	1,174	1,200	25
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	800	796	△ 3	800	794	△ 5
	小 計	800	796	△ 3	800	794	△ 5
合 計		2,033	2,065	31	1,974	1,994	20

(注) 1. 時価は期末日における市場価格等に基づいております。2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。  
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

## 不良債権の状況

金融再生法ベースの不良債権は、前期末と比べ7億43百万円減少して50億22百万円となり、総与信額に占める割合は、前期末と比較して0.76ポイント低下の7.28%となり、保全率は前期末と比べ0.21ポイント低下して85.89%となりました。

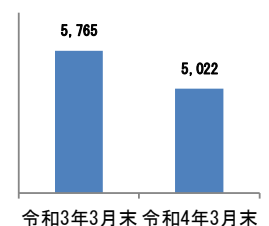
### 金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

	令和3年3月末	令和4年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,112	773	△ 338
危険債権	4,161	3,958	△ 202
要管理債権	492	290	△ 201
小計(金融再生法上の不良債権) a	5,765	5,022	△ 743
正常債権	65,925	63,919	△ 2,005
合計	71,690	68,941	△ 2,748
不良債権比率	8.04%	7.28%	△ 0.76%
	令和3年3月末	令和4年3月末	増減
保 全 額 b	4,964	4,313	△ 650
貸倒引当金	1,504	1,214	△ 289
担保・保証	3,460	3,098	△ 361
保 全 率 b/a	86.10%	85.89%	△ 0.21%

金融再生法上の不良債権残高

(単位:百万円)



不良債権は、その大半を担保・保証、貸倒引当金により保全されております。

第99期 貸借対照表

令和4年3月31日現在

科目	金額	百万円
<b>( 資産の部 )</b>		
現金	1,571	
預け金	59,246	
有価証券	49,358	
国債	15,034	
地方債	6,147	
社債	15,115	
株式	32	
その他の証券	13,028	
貸出金	68,649	
割引手形	339	
手形貸付	4,904	
証書貸付	60,627	
当座貸越	2,777	
その他資産	924	
未決済為替貸	15	
信金中金出資金	696	
前払費用	5	
未収収益	172	
その他の資産	33	
有形固定資産	2,092	
建物	620	
土地	1,327	
その他の有形固定資産	145	
無形固定資産	111	
ソフトウェア	1	
その他の無形固定資産	109	
前払年金費用	124	
債務保証見返	226	
貸倒引当金	△1,408	
(うち個別貸倒引当金)	(△1,203)	
<b>資産の部合計</b>	<b>180,897</b>	

科目	金額	百万円
<b>( 負債の部 )</b>		
預金積金	175,896	
当座預金	3,528	
普通預金	94,298	
貯蓄預金	92	
通知預金	0	
定期預金	72,873	
定期積金	4,042	
その他の預金	1,060	
その他負債	115	
未決済為替借	25	
未払費用	28	
給付補填備金	0	
未払法人税等	1	
前受収益	14	
払戻未済金	1	
資産除去債務	1	
その他の負債	42	
賞与引当金	30	
役員退職慰労引当金	32	
睡眠預金払戻損失引当金	13	
偶発損失引当金	12	
繰延税金負債	24	
債務保証	226	
<b>負債の部合計</b>	<b>176,351</b>	
<b>( 純資産の部 )</b>		
出資金	503	
普通出資金	503	
利益剰余金	4,601	
利益準備金	506	
その他利益剰余金	4,094	
特別積立金	4,039	
(経営安定化積立金)	(250)	
当期末処分剰余金	55	
会員勘定合計	5,104	
その他有価証券評価差額金	△559	
評価・換算差額等合計	△559	
<b>純資産の部合計</b>	<b>4,545</b>	
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>180,897</b>	

第99期 損益計算書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

科目	金額	千円
<b>経常収益</b>		1,668,374
資金運用収益	1,448,561	
貸出金利息	981,143	
預け金利息	69,822	
有価証券利息配当金	375,325	
その他の受入利息	22,270	
役務取引等収益	175,237	
受入為替手数料	76,341	
その他の役務収益	98,895	
その他業務収益	24,409	
国債等債券売却益	20,202	
その他の業務収益	4,206	
その他経常収益	20,165	
償却債権取立益	6,713	
株式等売却益	931	
その他の経常収益	12,521	
<b>経常費用</b>		1,617,224
資金調達費用	10,917	
預金利息	10,559	
給付補填備金繰入額	357	
役務取引等費用	134,843	
支払為替手数料	25,662	
その他の役務費用	109,180	
その他業務費用	141	
その他の業務費用	141	
経費	1,325,967	
人件費	831,128	
物件費	453,289	
税金	41,549	
その他経常費用	145,355	
貸倒引当金繰入額	122,893	
貸出金償却	9,944	
株式等償却	284	
その他の経常費用	12,232	
<b>経常利益</b>		51,149
<b>特別利益</b>		897
固定資産処分益	897	
<b>特別損失</b>		122
固定資産処分損	122	
<b>税引前当期純利益</b>		51,924
法人税、住民税及び事業税	6,580	
法人税等調整額	10,805	
<b>法人税等合計</b>		17,385
<b>当期純利益</b>		34,539
<b>繰越金(当期首残高)</b>		20,859
<b>当期末処分剰余金</b>		55,398



## 第99期 剰余金処分

科目	金額	円
当期末処分剰余金	55,398,218	
剰余金処分額	10,071,428	
普通出資に対する配当金(年2%)	10,071,428	
繰越金(当期末残高)	45,326,790	

上記のとおりであります。  
令和4年6月

## にいかお信用金庫

理事長 岸 和 雄

常務理事	本 多 敏 明	理 事	星 名 照 彦
常勤理事	梅 澤 慎 一	常勤監事	佐 藤 健 生
常勤理事	貫 名 昭 人	員外監事	坂 井 浩
理 事	四十物 直 之	監 事	小 泉 昌 雄
理 事	大 愛 高 義		

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、河村拓栄公認会計士の監査を受け、適法意見の監査報告書を受領しております。

令和4年6月10日開催の当金庫第99期通常総代会において、下記のとおり決議されました。

記

報告事項

第99期  $\left[ \begin{array}{l} \text{令和3年4月 1日から} \\ \text{令和4年3月31日まで} \end{array} \right]$  業務報告、

貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

本件については、業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

本件については、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 会員資格解除に関する件

本件については、原案どおり承認可決されました。

以 上

## 庶務の概要

3. 6. 1 ~  
6. 30 「信用金庫の日」における業界統一広報事業として、しんきん『地域応援』キャンペーンを実施し、信用金庫に関するクイズやアンケートへの応募で賞品が当たるオープン懸賞を実施しました。

3. 6. 11 第98期通常総代会を開催し、令和2年度決算承認の件、定款の一部変更の件、会員資格解除に関する件、理事7名選任の件、監事3名選任の件、会計監査人選任の件、退任理事に対する退職慰労金贈呈の件、総代候補者選考委員28名選任の件が承認可決されました。

3. 6. 15 コロナ禍の影響によりパンや菓子等の販売機会が減少した福祉事業者を応援するため、営業店のロビースペースの無償提供を開始しました。

3. 7. 1 魚津市の電子地域通貨「ミラペイ」の導入を受け、電子地域通貨やクーポン等の地域振興券取扱業者を対象とした「コロナ関連対策つなぎ資金」融資の取扱いを開始しました。

3. 7. 5 中学2年生の「14歳の挑戦」において、魚津市の中学生が当金庫で職場体験活動を行いました。

3. 7. 13 金庫創立100周年に向けた取り組みとSDGs推進の一環として、粗品袋をビニール製から、環境にやさしいLIMEXとバイオマス素材を含む素材へ変更しました。

3. 7. 29 特殊詐欺被害を未然防止し、富山中央警察署長から富山支店と職員2名に感謝状が授与されました。

3. 9. 15 平成25年より社会貢献活動の一環として継続している献血活動を本店営業部駐車場でを行い、職員が積極的に協力しました。

3. 10. 15 年金支給日に全店の来店客を対象に特殊詐欺への注意喚起を促す特殊詐欺被害防止活動を実施しました。(本店営業部・魚津駅前支店は魚津警察署との合同開催)

3. 11. 17 WEB完結型の取扱いが可能な、フリーローン「職域専用ナイスフリー」の取扱いを開始しました。

3. 11. 26 ~  
4. 3. 31 原油価格上昇の影響で資金繰りに困難を来している法人・個人事業主および個人の皆様に対応するため、「原油価格上昇に関する特別相談窓口」を8店舗(サテライト店舗以外)に設置しました。

4. 1. 14 当金庫が魚津市の「片貝川流域水循環遺産活用事業」を信金中央金庫「SCBふるさと応援団」に推薦し認定されました。

4. 2. 7 住宅借入金等特別控除制度説明会を2会場(入善支店、滑川営業部)で開催しました。

4. 3. 1 ~  
5. 31 県内7金庫合同の給与振込キャンペーン「ラッキー7キャンペーン」と並行して、当金庫の「給与振込キャンペーン2022」を実施しました。



福祉事業者のロビー販売  
(R3.6.15~)



「14歳の挑戦」  
(R3.7.5)



環境にやさしい  
粗品袋へ変更  
(R3.7.13)



特殊詐欺防止活動  
(R3.10.15)



SCBふるさと応援団  
寄付金贈呈式  
於:魚津市役所 (R4.1.14)



# にいかわ信用金庫

## 営業区域と店舗のご案内



富山県全域となります。

※にいかわ信用金庫では、県内全域の活性化を通じた地方創生、さらなるお客様への利便性向上を目的として営業エリアを富山県全域としております。

本店 営業部	魚津市双葉町6-5	TEL 0765-24-1155
桜井支店	黒部市三日市3146-1	TEL 0765-52-0227
生地支店	黒部市生地548	TEL 0765-56-8122
入善支店	下新川郡入善町入膳5444-3	TEL 0765-72-0143
泊支店	下新川郡朝日町泊418	TEL 0765-82-0246
魚津駅前支店	魚津市釈迦堂1-13-11	TEL 0765-23-1211
水橋支店	富山市水橋辻々堂135-3	TEL 076-478-1151
新庄支店	富山市向新庄町1-1-2	TEL 076-451-5158
富山支店	富山市西町7-6	TEL 076-421-2455
滑川営業部	滑川市四間町693-1	TEL 076-475-3121

URL <https://www.shinkin.co.jp/niikawa/>